

令和6年度 第1回 集団指導資料

豊島区介護保険課

令和5年度 介護サービス事業所での事故報告について

介護サービスを提供する上で事故が発生すると、利用者の治療、家族への連絡など、事業所として対応をしないてはならないことは山ほどあります。ここで忘れてはならないのが「報告」です。

介護サービス事業所には、事故の防止及び事故発生時の対応が、それぞれのサービス種別ごとの「基準」で定められています。

【参考】介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準

(事故発生の防止及び事故発生時の対応)

第36条 介護老人保健施設は、事故の発生又はその再発を防止するため、次の各号に定める措置を講じなければならない。

- 一 事故が発生した場合の対応、次号に規定する報告の方法等が事故発生の防止のための指針を整備すること。
- 二 事故が発生した場合又はそれに至る危険性がある事態が生じた場合に、当該事実が報告され、その分析を通じた改善策を従業者に周知徹底する体制を整備すること。
- 三 事故発生の防止のための委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）及び従業者に対する研修を定期的に行うこと。

四 前三号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置くこと。

2 介護老人保健施設は、入所者に対する介護保険施設サービスの提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、入所者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じなければならない。

3 介護老人保健施設は、前項の事故の状況及び事故に際して採った処置について記録しなければならない。

4 介護老人保健施設は、入所者に対する介護保険施設サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行わなければならない。

この規定は介護老人保健施設の例です。サービス種別によって文言は少しずつ異なっていますが、同内容の規定は必ず設けられています。このように事故について連絡（報告）をすることは、法令上の「義務」となっています。

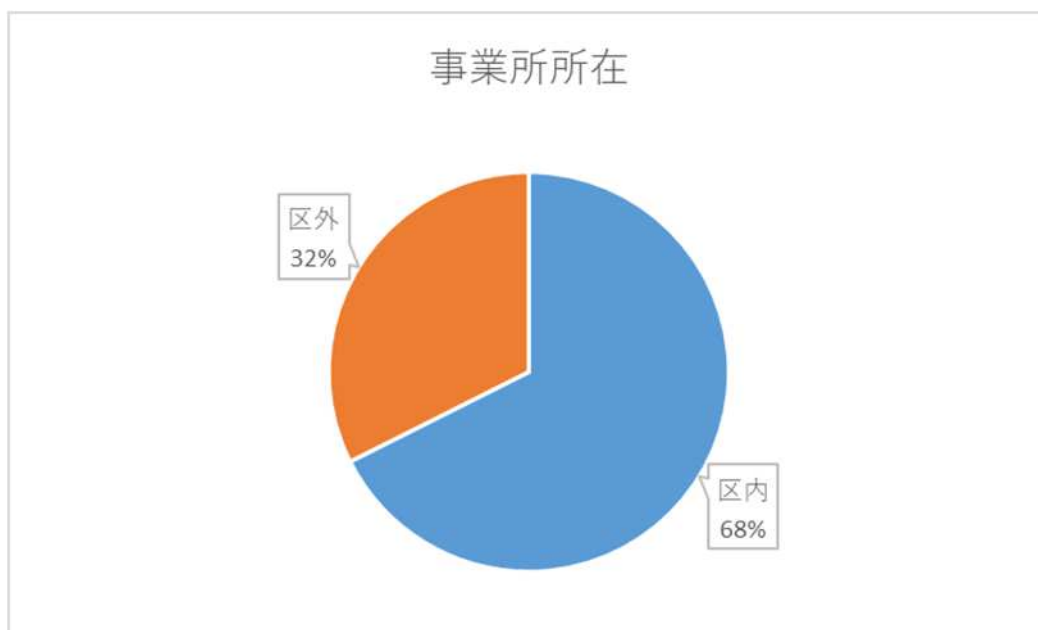
ここでは、令和 5 年度中に豊島区によせられた事故報告についてとりまとめたので、次ページ以降報告をさせていただきます。

1. 事故が発生した事業所の所在
2. 事故当事者の年齢
3. 事故の種別
4. サービス種別毎の事故件数

1. 事故が発生した事業所の所在

事故報告のあった、全 580 件のうちおよそ 3 分の 2（392 件）が豊島区内の介護サービス事業所での事故となっていますが、住所地特例施設等の区外事業所からの報告も一定数ありました。

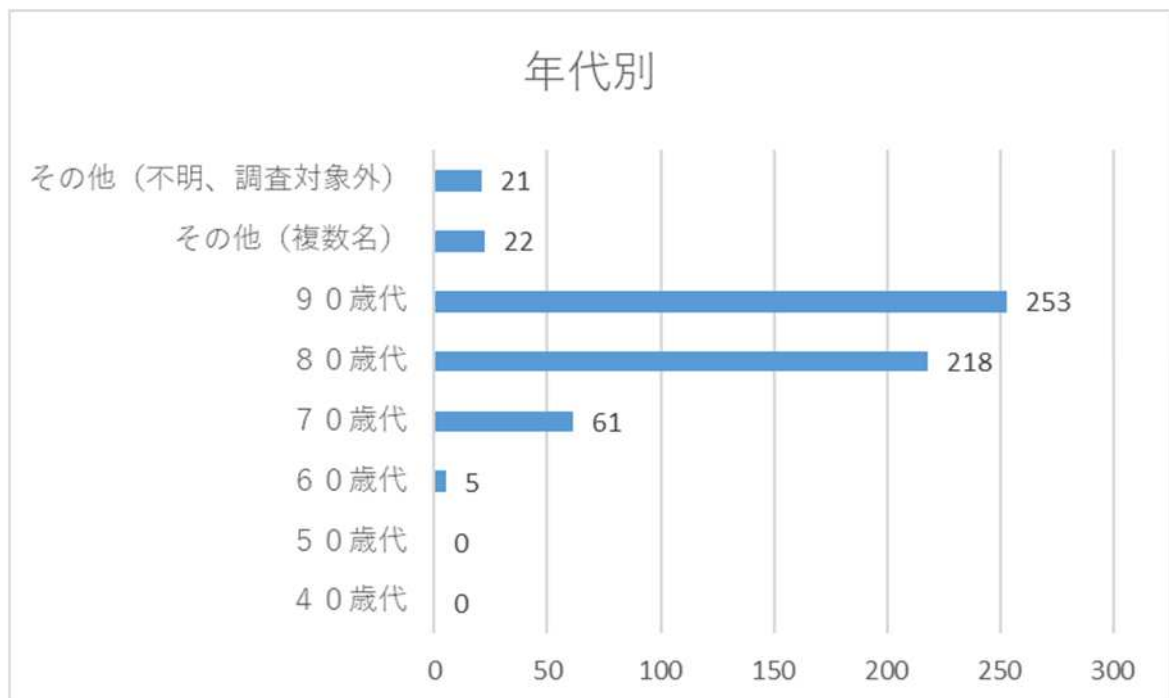
	件数	割合
区内	392	68%
区外	188	32%
合 計	580	100%



2. 事故当事者の年齢

90歳代が最も多く、次いで80歳代となっています。年齢が上がるにつれ事故当事者となる傾向がうかがえます。

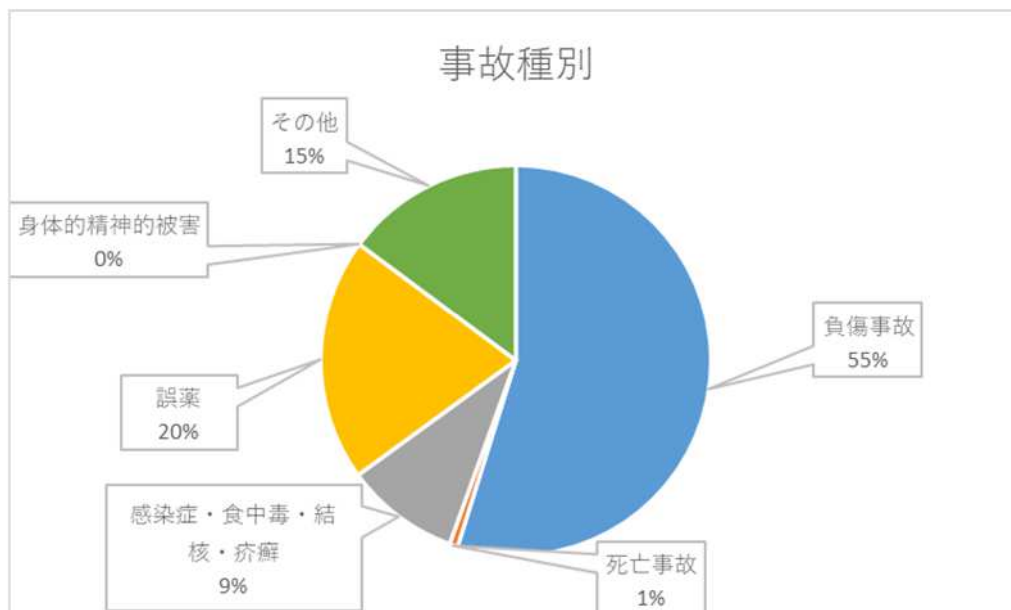
	人数	割合
40歳代	0	0%
50歳代	0	0%
60歳代	5	1%
70歳代	61	11%
80歳代	218	38%
90歳代	253	44%
その他(複数名)	22	4%
その他(不明、調査対象外)	21	4%
合 計	580	100%



3. 事故の種別

負傷事故（骨折、裂傷など）が最も多く、全体の凡そ半数を占めています。次いで誤薬（薬の飲み忘れ、飲み間違い、与薬もれ等）となっています。また新型コロナウイルス感染症の報告事例もあり、感染症等の割合も高くなっていました。死亡事故4件のうち2件は誤嚥・窒息。1件は進行性核上性麻痺末期症状が起因、1件は急性心筋梗塞発症による急変でした。

	件数	割合
負傷事故	318	55%
死亡事故	4	1%
感染症・食中毒・結核・疥癬	55	9%
誤薬	117	20%
身体的精神的被害	0	0%
その他	86	15%
合 計	580	100%



4. サービス種別毎の事故件数

老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム）が報告された事故の大多数を占めていました。次いで認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、介護老人保健施設。通所介護が多くなっていました。サービス提供時間が長いサービス種別ほど事故報告件数が多くなっている傾向があります。

在宅・通所

訪問介護	12
訪問入浴介護	0
訪問看護	0
訪問リハビリテーション	0
居宅療養管理指導	1
通所介護	18
通所リハビリテーション	3
短期入所生活介護	13
短期入所療養介護	0
特定施設入所者生活介護	183
福祉用具貸与	0
福祉用具販売	0
住宅改修	0
居宅介護支援	0

施設入所

介護老人福祉施設	211
介護老人保健施設	30
介護療養型医療施設	1

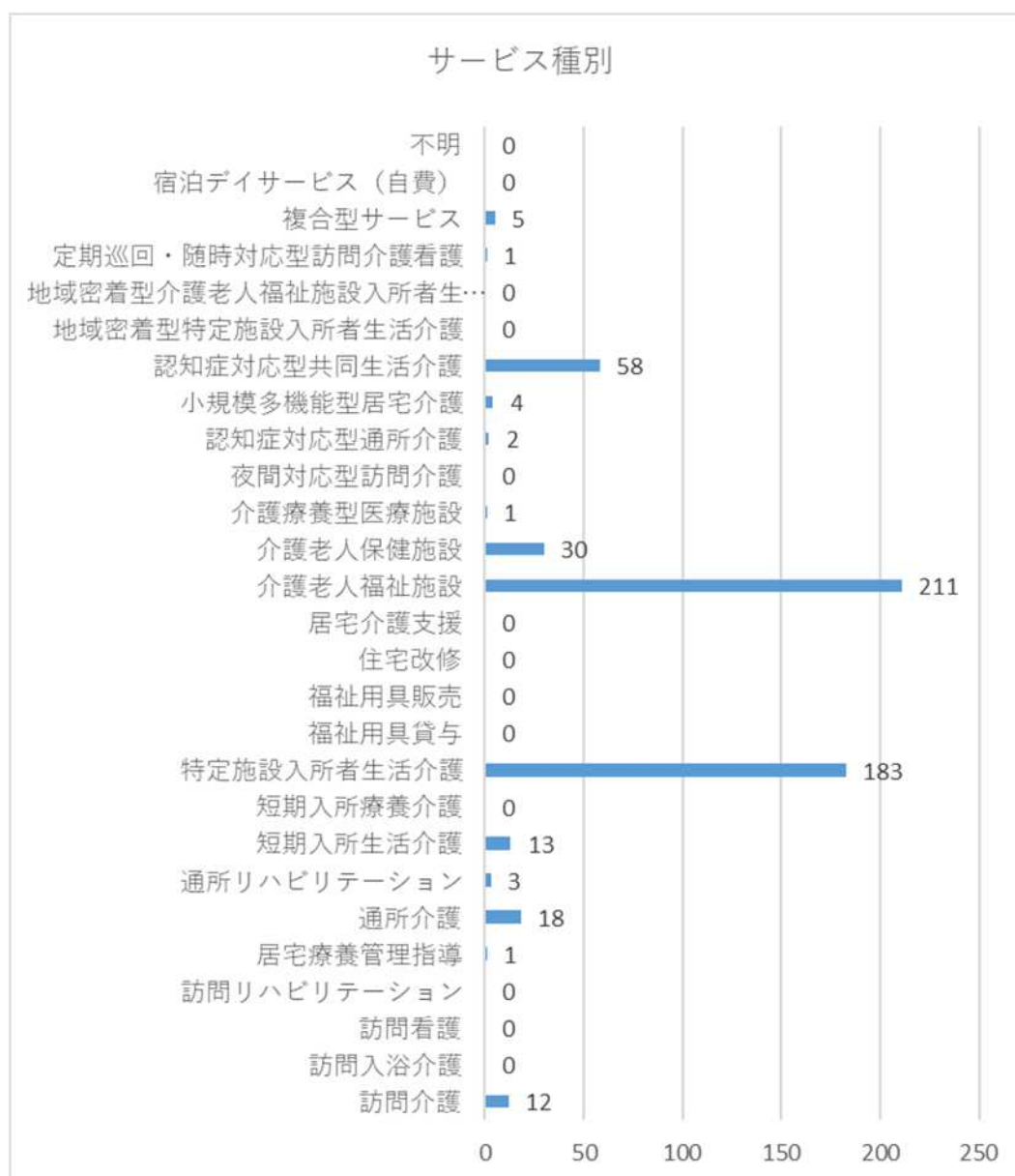
地域密着型

夜間対応型訪問介護	0
認知症対応型通所介護	2
小規模多機能型居宅介護	4
認知症対応型共同生活介護	58
地域密着型特定施設入所者生活介護	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
複合型サービス	5
宿泊デイサービス(自費)	0

その他

不明	38
合計	580

※赤文字は入所系サービスで事故が多く報告されているものです。青文字「通所」は入所系ではないが、事故が多かったため文字に着色しています。



以上が令和 5 年度中の豊島区に報告があった介護サービスでの事故となります。

事故の事例や再発防止策につきましては、公益財団法人介護労働安定センターが平成 29 年度に行った「介護サービスの利用に係る事故の防止に関する調査研究事業」に詳しく分析されていますので、一度確認してみてください。

リンク

事故の事例や再発防止策

公益財団法人 介護労働安定センター

平成 29 年度「介護サービスの利用に係る事故の防止に関する調査研究事業」について

https://www.kaigo-center.or.jp/report/sonota/h29_roujinken_01_20171024.html

トップページ>介護労働実態調査等「その他の調査」>老人保健健康増進事業一覧

豊島区介護保険課 事故報告関連のページ

事故報告について

<https://www.city.toshima.lg.jp/199/kenko/kaigo/kaigo/kanrenjigyo/019092/index.html>

電子上での報告について

上記ページ掲載のリンク先より、電子上で報告ができます。